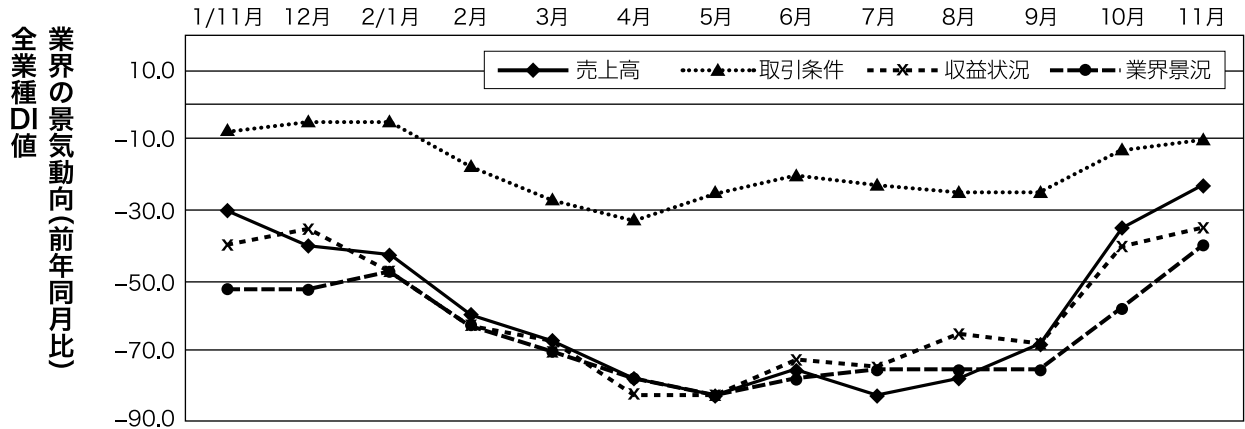




# 業界の今

情報連絡員報告より  
11月の業界の動き

## ◆ 令和2年11月度 情報連絡員報告 ◆



	1/11月	12月	2/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	増減
売上高	-30.0	-40.0	-42.5	-60.0	-67.5	-77.5	-82.5	-75.0	-82.5	-77.5	-67.5	-35.0	-22.5	12.5
取引条件	-7.5	-5.0	-5.0	-17.5	-27.5	-32.5	-25.0	-20.0	-22.5	-25.0	-25.0	-12.5	-10.0	2.5
収益状況	-40.0	-35.0	-47.5	-62.5	-67.5	-82.5	-82.5	-72.5	-75.0	-65.0	-67.5	-40.0	-35.0	5.0
業界景況	-52.5	-52.5	-47.5	-62.5	-70.0	-77.5	-82.5	-77.5	-75.0	-75.0	-75.0	-57.5	-40.0	17.5

**概要** 令和2年11月の前年同月比DI値の推移は、「売上高」が4か月連続の改善で12.5ポイント上昇、「取引条件」「収益状況」「業界景況」も2か月連続の改善となり、前年同月比DI値は、「売上高」が-22.5ポイント、「収益状況」が-35.0ポイント、「業界景況」が-40.0ポイントと1年前の数値まで回復してきた。

新型コロナウイルス感染症の影響による景況の悪化から持ち直しの動きが続いているが、第3波の到来により、再び景況が悪化するのではないかと製造業・非製造業問わず全体的に今後の不安が高まってきているため、引き続き切れ目のない経済対策が必要である。

### 月末にかけてキャンセルが多数出てきているので、先々が不安である。(旅館)

集計上の分類業種	業種詳細・地域	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製造業	食料品	醤油味噌	コロナも第3波となり、南勢が特に不況である。全般の動きが悪かった分は、月ズレで少し動きだしてきた模様だが、ここでまた自粛モードで不況となるか心配である。ふるさとしょうゆ1,009名様プレゼントキャンペーンは全国で34,051名の応募中、三重県へは640名の応募があり、38名様が当選した。
	窯業・土石製品	伊賀焼	回復傾向にあった客足が新型コロナウイルスの第3波の影響で陶芸教室を含め、再び落ちてきている。今後の動向が心配である。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の11月の生産高は10月と比べ若干ではあるが多くなってきている。自動車関連部品、建築物ガス関連、その他全般的に伸びている。半導体関連は10月よりも生産高は落ちている。しかし年明けより生産が回復するとの見通しが業界全般の観測である。
非製造業	小売業	スポーツ	11月は概ね天気も良く、コロナ禍の中とはいえ大会も順調に開催された。大会があればスポーツ用品は動く。また、寒さが早くきたので、冬物の消化も良いように思われる。ただ、ここにきてコロナの蔓延が心配である。
	サービス業	旅館	「GoToトラベル」「地域クーポン」等の効果により、地域、施設により様ではないが、対前年同月に近い実績を上げていたようである。「じゃらん」の取扱実績の発表では、三重県は東海地方では最も好調で特に伊勢志摩は全国でも一、二の好調な地域であったようである。しかし、月末にかけて感染拡大、自粛等の報道により、実際のキャンセルが多数出てきているので、先々が不安である。
	建設業	総合工事業	県内建設企業の受注高の前年同月比は、2ヶ月連続して1.0を割った。11月末までの累計前年度比は1.08であった。国、県ともに早期発注に取り組んだ事であり、1月以降の工事発注も前年同月比1.0を下回る可能性が大きいと思われる。

A	B	C	D	E	F
×二分の一以上	×定数の定めるところ	×二年間	×三分の二	○	○

【P8「チャレンジ!!組合士」の解答】